

保育計画成果報告書

法人名等	特定非営利活動法人つくばハーモニー
施設名	ラ・フェリーチェ保育園
報告者（役職）	高橋 晃雄（園長）
住所・連絡先	茨城県つくば市研究学園 5-6-3
	☎ 029-875-7831 E-mail info@t-harmony.or.jp

○タイトル（保育計画）

ピアノ導入による「今月の歌」の充実

○主な助成備品

電子ピアノ一式

1. 保育計画策定の目的

本園は、平成 22 年に 0-5 歳児を対象とした認可外保育施設として開園しました。

本園がある、つくば市研究学園地区は、駅の近くに認可保育園が無いため、都内通勤者の保育の受け皿として機能してきました。また 5 年間の計画人口を 2 年で達成する急激な人口増加により、平成 24 年から地域の 0-2 歳児の待機児童が急増しました。

本園は、地域の保育ニーズに答えて 0-2 歳児の定員枠を毎年増やしていった結果、人件費がかさみ経営が不安定になっていきました。そこで同様の悩みを抱える市内の認可外保育施設事業者と連携して、子どもの安全と保育の質を高めるために、つくば市と議会に小規模保育事業の導入を求める運動を進めました。

その後、つくば市が県内で待機児童数ワースト 1 になったことや市内の認可外保育施設で死亡事故が発生したことなどから、昨年 5 月の子ども子育て会議で急遽翌年からの小規模保育の実施が決まりました。

本園も募集に応募し、平成 29 年 4 月につくば市最初の小規模保育施設として開園しました。しかし、つくば市の小規模保育事業開始が急遽決まったために施設整備補助金の規定がなく、設備工事は、全て自主財源となりました。

更に本園は、都内通勤者の保育の受け皿であることから、在園している 3-5 歳の保育を継続するための新たな認可外保育施設を自主財源で新設し、企業主導型保育施設の認定を受けました。

このため、ピアノを購入する予算の捻出が困難になり、キーボードを自作の木製の台に置いて使用している状況でした。

こうした状況の中で本園は、音楽指導計画に基づき、毎月「今月の歌」を決めて、主に朝の会で歌とお遊戯をしています。

0-1歳児は、まだ歌が歌えないため、2歳児と保育士の歌に合わせて体でリズムが取れるように促していきます。2歳児は、歌に因んで創作でつくった工作物を手に持ったり、被って歌いながらリズムに合わせて体を動かします。

しかし、現在使用しているキーボードは、音量が少なく、音質も良くありません。

新たにピアノを導入することによって、朝の会で泣いている子どもが居ても、音量を大きくすることや音質を高めることで、子どもたちの音楽への集中を促進することが期待できると考えました。

2. 具体的な実施内容

○朝の会

朝の会で歌とお遊戯を行う「毎月の歌」。本年度は、4月は、「たまごのうた」、「ブンブンブン」、5月は、「ピクニック」、「おつかいありさん」、6月は、「あまだれぼったん」、「かえるのうた」、7月は、「トマト」、「アイアイ」、8月は、「アイスクリームのうた」、「パンやさんにおかいもの」、9月は、「とんぼのめがね」、「ミッキーマウスマーチ」、10月は、「手をつなごう」、「まつぼっくり」、11月は、「おもちゃのチャチャチャ」、「きのこ」、12月は、「カレーライスのうた」、「おもちゃのマーチ」を実施しました。



○お誕生日会

隣接している、3-5歳児を対象とする認可外(企業主導型)保育施設「ラ・フェリーチ保育園うさぎ組」と毎月合同でお誕生日会を実施しました。ここで「毎月の歌」を披露しました。写真は、11月のお誕生日会で披露した0-1歳児の「きのこ」と2歳児の「おもちゃのチャチャチャ」の様子です。



お誕生日会の保護者見学を行っています。しかし仕事の関係で、見学に来られる保護者は少ないため、本園で歌やお遊戯を撮影して、ユーチューブで配信しています。

動画配信にあたっては、個人情報保護の目的から、毎月のおたより(写真)に限定配信用のQRコードを記載して、これをスマートフォンで読み込むことでしか動画が見られないようにしています。

5月のお誕生会

2018年5月 誕生会

ラ・プティ・シェ・保育園

おたんじょうびおめでとう

くん	誕生月
くん	誕生月
さん	誕生月
さん	誕生月
さん	誕生月

今月の歌
うさぎ とりののどトロ
てじてあついで
ひよこ ビグニック
おつかいありさん

4月の誕生会

5月の行事
21日(日) 避難訓練
24日(水) お誕生会
身体測定

夏季休業のお知らせ
8月11日(土)~15日(水)
お盆休み、完全休業になります。
ひよこ組は、12日(土)、少人数で
練習を兼ねます。お断りする日は、
5月末までにお断りください。

3. その成果と評価

これまでのキーボードと比べて、電子ピアノは、音質が良く、音量もかなり大きくできるため、保育室の隅々まで音が広がり、子どもたちのピアノ演奏への集中力が増しました。その結果、子どもたちが音楽を身近に感じ、親しむことができました。

また、省スペース型の電子ピアノを導入したことによって、壁とピアノの間の空間が広くなり、保育士のピアノ演奏姿勢が楽に取れるようになりました。

4. 今後の課題と展望

現在は、音楽大学でピアノを専攻した保育士がピアノ演奏を担当しているため、他の保育士がピアノ演奏を敬遠する傾向が見受けられます。今後は、他の保育士もピアノ演奏の経験が積めるシステムづくりを行いたいと考えています。